

女子400mハードルの予選1組で1位になった辻井=三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場



東海総体

陸上女子 辻井が準決勝進出

全国高校総体(インターハイ)第3日は3日、三重県伊勢市の三重交通Gスポーツの杜伊勢などで行われた。県勢はソフトボール女子の奈良女子が1回戦で日南学園(宮崎)に7-0で快勝した。ボクシングはライトフライ級の政所(王寺)から4選手が2回戦を突破した。弓道団体は男子の平城、女子の郡山とともに決勝トーナメント進出。陸上女子400mハードルの辻井美緒(平城)は準決勝へ進

陸上の女子400mハードルの予選に出場した辻井美緒(平城)が、予選1組中1位となる1分01秒51の記録で4日の準決勝にコマを進めた。

辻井は「厳しい暑さであることは気になったが、一番にあわせてしっかり調整できた。動きは悪くなかった」と予選の走りを振り返った。しかし8台目のハードルを跳ぶときに17歩で行きたかったのが歩数が増え

辻井「もっと伸びたはず」

てしまい、タイミングを乱してしまったとも話し、「もっとタイムは伸びたはず」と記録には不意さを残した。次は止まらずに跳べるようにしたいと辻井。「練習での一本一本を集めて、力を出し切れるように頑張りたい」と準決勝への意気込みを示した。

女子400mハードル

(有賀)